

スポーツ博物館・図書館の概要

1. 国立競技場に設置された秩父宮記念スポーツ博物館の概要

開館：昭和34（1959）年1月～平成26（2014）年5月
場所：国立競技場内
規模：2,169㎡

	博物館		図書館		事務所	合計
	展示室	収蔵庫	閲覧室	書庫		
面積 (㎡)	935	728	182	203	121	2,169
割合	43%	34%	8%	9%	6%	100%

累計来場者：800万人(昭和34年～平成26年)
直近の平均入場者数：年約12,000人（平成20～25年）
※H25.9のオリパラ開催決定後入場者急増

職員数：9名（うち学芸員2名）※平成25年

博物館法上の資格：博物館相当施設

開館時間：9：30～16：30（入館受付16：00まで）

休館日：博物館は第2・第4火曜日 年末年始、他に2週間
図書館は土・日・祝日 年末年始、他に2週間

入館料：一般300円 高校生以下100円
団体（20名以上）一般200円 高校生以下50円
図書館は入館無料

主な収蔵品・蔵書：

- （博物館）約6万件
- ・秩父宮雍仁親王殿下関係資料、オリンピック関係資料、日本のスポーツ史（明治期～現代）
- （図書館）約16万冊
- ・江戸後期、明治期大正期の貴重書
- ・歴代オリンピック大会報告書、競技団体機関紙など

主な展覧会や活動

- （常設展に加え企画展を実施）
- ・スポーツと映像
- ・全国スポーツ写真コンクール展
- ・SAYONARA国立競技場展

（シンポジウム）

- ・「スポーツ文化調査研究協力事業」（シンポジウム2009年2月7日、雑誌発刊）

（イベント）

- ・国立競技場スタジアムツアー

2. 綾瀬倉庫移転後の概要

開館：平成26（2014）年6月～現在
（契約期限）平成32年3月

場所：足立区綾瀬

規模：1712m²

	博物館		図書館		事務所	合計
	展示室	収蔵庫	閲覧室	書庫		
面積（㎡）	0	1025	130	427	130	1712
割合	0%	60%	8%	25%	8%	100%

職員数：7名（うち学芸員2名、司書1名）※平成30年

足立区綾瀬の倉庫を借り上げて、平成26年6月に博物館及び図書館資料を移転した。展示機能は持たず、収蔵機能に特化し、再開館に向けて資料の整理を実施している。展示公開に関しては、文化庁の補助事業（平成27年度～29年度）を活用した巡回展の実施や、貸出による他館等への協力を行った。

また、図書館については、平成26年9月から事前予約の上、閲覧・複写サービスを実施してきた。

※平成30年度から貸出、閲覧サービスは休止

主な収蔵品・蔵書

（博物館）約6万件

秩父宮殿下関係資料、オリンピック関係資料、日本のスポーツ史（明治期～現代）

（図書館）約16万冊

江戸後期、明治期大正期の貴重書

歴代オリンピック大会報告書、競技団体機関紙など

主な展覧会や活動

（巡回展）

・2020年オリンピック・パラリンピックがやってくる（文化庁補助事業）

平成27年度～29年度

10か所 合計来場者数 約65,000人

※三重県総合博物館、岩手県立博物館、東北歴史博物館等

（シンポジウム）

・「これからのスポーツ博物館のあり方について」
（文化庁補助事業2015年10月10日）

（資料貸出）

平成26年度～平成29年度

60件 約900点 年平均225点

※長崎国体、警察博物館、わかやまスポーツ伝承館
江戸東京博物館、北海道博物館、立山博物館、
早稲田大学等

（図書閲覧等サービス）

平成26年度～平成29年度

利用者数 約100人 年平均25人

利用冊数 約2,500冊 年平均600冊

レファレンス回答数 約300回 年平均75回

（資料整理）

データリスト化など既存資料の整理の実施

3. 主な博物館資料

秩父宮殿下関係資料	オリンピック関係資料	日本のスポーツ史資料 (明治～現代)	総数
約100件	約11,000件	約48,000件	約59,100件



名称	資料名
秩父宮雍仁親王殿下関係資料	シングルスカール・オール 登山道具(登山靴、ピッケル、ザイル) 御下賜日章旗
オリンピック関係資料	近代オリンピック資料 ・大会ポスター、入賞メダル、参加メダル、記録証など 1964年東京大会、1972年札幌大会、1998年長野大会資料 ・聖火トーチ・保存灯、デレゲーションユニフォーム、賞状、メダルなど
日本のスポーツ史資料	スポーツ用具 ・ユニフォーム、スパイク(三島弥彦)、バッド、ミット、ボール(平沼コレクション) 国内競技大会資料(明治神宮競技大会・国民体育大会など) ・ポスター、メダル、バッジなど

主な図書館資料

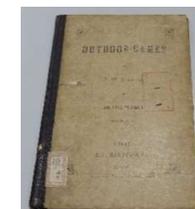
図書	雑誌	総数
40,000冊	125,000冊	165,000冊



『当世相撲金剛伝』ほか



『戸外遊戯法』



『Outdoor Games』



『内外遊戯全書』



『アサヒスポーツ』



『ローンテニス』

主な貴重書

名称	著者	出版年
『当世相撲金剛伝』	立川焉馬 作 歌川豊国 画	1844(江戸・天保15)年
『體操書』	ヴェルギュ 著 石橋好一 訳	1874(明治7)年
『ローンテニス』1巻1号－18巻10号』	ローンテニス社 出版	1925.4-1953.10(大正14.4-昭和28.10)年
『戸外遊戯法：一名・戸外運動法』	坪井玄道, 田中盛業 編	1885(明治18)年
『Outdoor Games』	F.W. Strange 著	1883年(明治15)年
『内外遊戯全書』全15編	遠山熙 著、稲田實 著 ほか	1899-1900(明治32-33)年
『アサヒ・スポーツ』1巻1号－21巻11号	朝日新聞社 出版	1923.3-1943.6(大正12.3-昭和18.6)年